

防コミの歩き方

BOSAI
KOBE
MIRAI

「BOKOMI」 in インドネシア2011

インドネシアのジョグジャカルタという都市のBADRAN (バッドラン) という地区で、2010年12月にBOKOMIが結成されたことは、以前本誌でご紹介させていただきましたが、6月にこのBADRAN地区を訪問し、その後の動きを調査しましたのでご報告します。

まず、「BADRAN BOKOMI」の訓練ですが、結成されて以後、毎月第3日曜日に定期的に実施し、3か月に1回のペースで「BOKOMI Festival」と称して大規模に、子どもが楽しく防災を学ぶことができるインドネシア版「イザ! カエルキャラバン!」を継続的に実施しています。

また、結成時に地元の資機材を利用して、自分たちで製作した安価な消火ポンプが改良されたうえに、新型ポンプも導入し、2台になっていました。

この2台のポンプを利用した消火訓練が目玉となり、定期的な訓練にも、若い人を含む多くの人が参加するということでした。

●さらに進化するBOKOMI

この地区では消火栓が整備されていないため、この消火ポンプにはそれぞれポンプと同じ台車に乗せて移動できるドラム缶が搭載されています。しかし、当然、本格的な火災になると水量が乏しく対応できないことを告げると、近くの川から中継して送水することや各家庭に布バケツを配布し、火災発生時には、各家庭から水をくんだバケツを持ち寄り、皆でドラム缶に給水する方法などを自分たちで考え、既に訓練も実施しているということでした。防火水槽も自分たちで5カ所ほど造る予定だそうです。

いつも訓練で使用している町の中心の広場は、災害時に一時避難をするための広場に整備もされ、インドネシア国内のいたるところから、このBADRAN地区のBOKOMIを見学に来るまでになっているそうです。既にBOKOMIを結成すると決めた他の地区もあり、神戸の教訓を基に始まった取り組みがゆっくりと広がりを見せています。

(予防課地域防災支援係 竹中邦明)

